

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 巧文



■ 文化・スポーツによるまちづくり

かねて「文化」「スポーツ」に関することは、法律で教育委員会の所管事項とされてきましたが、近年の法律改正で、市長部局に移すことが可能となりました。本市も4月からこの2つを市長部局に移管し、「文化・スポーツによるまちづくり」に挑戦することになりました。文化、スポーツともに特定のものに限定せず、広がりのある、およそ本市の市民なら何かの文化、スポーツに関心を持ち、それにより健康で生き生きした毎日を送り、かつ、地域間・世代間の交流や地域振興に役立つことを目標に、一步ずつ着実に前進することを心がけることにしています。

秋には恒例の市民文化祭を迎えますが、この一層の充実を願うとともに、大きな文化事業としては、市誕生10周年記念事業として、暮れの「第九」と来年の「オペラ」。また来年は、今や日本における若手ガラス作家の登竜門といわれている「現代ガラス展」(3年ごと)を迎えます。

スポーツの方も、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)昇格を目指し、現在JFLに所属する「レノファ山口」から声がかかり、山口市、下関市に次いで、本市も応援都市の仲間入りをすることにしました。その関係で、7月2日、Jリーグから専務理事が来訪され、本市の商工会議所、観光協会、サッカー協会関係者等との座談会が持たれましたが、専務理事の語る「Jリーグ百年構想」は、本市の目指す「スポーツによるまちづくり」と底流において共感するものが多く、大変興味深いものでした。

【Jリーグ百年構想～スポーツでもっと幸せな国へ～】
「DO! ALL SPORTS」のキャッチフレーズのもと、

①あなたのまちに、緑の芝生に覆われた広場やスポーツ施設をつくること。

②サッカーに限らず、あなたがやりたい競技を楽しめるスポーツクラブをつくること。

③「観る」「する」「参加する」。スポーツを通して世代を超えたふれあいの輪を広げること。

はじめの「DO! ALL SPORTS」は「何かスポーツをしましょうよ」とでも訳すのでしょうか。みなさんも何か運動をして心地よい汗を流しませんか。

■ 自宅と公務

市役所への用件のことで、私の自宅に電話がかかってきたり、また自宅への来訪者もあります。以前、裁判所にいたころは、事務局の行き届いた二重、三重の防護壁のおかげで、これらは全く経験のなかった出来事です。もっとも裁判所にいたころは、国民と常に一定の距離を保つことがモラルとされていましたが、今は市民の中に飛び込んでこそ、市民と苦楽を共有できる立場の違いがありますから、一概に自宅への電話や来訪者をすべて断れないところに対応の難しさがあります。

しかし、自宅で市役所への苦情や要望を聞くことは原則として断り、その場では数日後の日時だけを決めて、後日、市役所の市長室で担当者か秘書を立ち会わせてお話を伺うことにしています。そんなことで、何人もの市民の方に市長室に足を運んでいただいています。市長として「公明正大」な市政の運営を忘れず、市民のみなさんにもご協力をお願いしています。